

# 公開実用 昭和63-197175

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑬ 公開実用新案公報(U) 昭63-197175

⑭ Int.Cl.<sup>4</sup>

B 42 D 15/00  
B 42 F 21/02

識別記号

3 3 1

庁内整理番号

K-7008-2C  
B-6970-2C

⑯ 公開 昭和63年(1988)12月19日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑰ 考案の名称 歌詞シート

⑱ 実 願 昭62-88381

⑲ 出 願 昭62(1987)6月8日

⑳ 考 案 者 山 形 一 紀 奈良県北葛城郡上牧町片岡台1丁目9番地の4

㉑ 出 願 人 株式会社 山形グラビ ヤ 大阪府八尾市若林町2丁目99番地

㉒ 代 理 人 弁理士 内 山 充

1. 考案の名称 歌詞シート

2. 実用新案登録請求の範囲

1 両面に歌詞を印刷した、熱可塑性プラスチックフィルム製の、長方形の不透明シート2の両面の印刷の上に熱可塑性プラスチックフィルム1をラミネートし、該長方形の左右いずれかの1辺のとじ込み辺に沿って一定間隔で、複数個のとじ込み用の穴5を設け、かつ該穴の周縁を熱溶融により補強し、とじ込み辺に対向する辺又は上下の2辺のうちの少なくとも一辺に連続的に延設した見出し用舌片3,4を設けたことを特徴とする歌詞シート。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はカラオケによる歌唱の際に使用する歌集に用いる脱着自由のプラスチックフィルム製歌詞シートに関するものである。

〔従来の技術〕



従来よりカラオケによる歌唱の際に、紙製の歌詞シートからなる歌集帳又はプラスチックフィルム製の袋の中に歌詞を印刷した紙を挿入した歌詞シートが使用されている。

カラオケ歌唱用の歌集帳は非常に多数の歌詞を収録するので、上記の2種の歌詞シートからなる歌集帳はいずれも非常に分厚くなり、どうしても歌集帳を多数の冊数に分けなければならない。その結果、求める歌詞を検索するのに時間がかかり、カラオケの曲の開始に間に合わないことがしばしば起こり不便であった。

又、歌曲の流行に応じ各歌詞シートを組み替える必要があり、各歌詞シートは脱着自在にとじ込む構造にしておかねばならない。このような構造中で最も簡単で、通常よく採用されるものとして、各シートの辺に沿って穴を設け、この穴に金属棒を通してとじ込む方法がある。

ところが、歌詞シート、特に薄いプラスチックフィルム製歌詞シートにこの方法を用いると、カラオケ用歌集は非常に頻繁にページを繰るため、



穴の処からシートが裂けて、歌詞シートがたちまち破れる欠点がある。

〔考案が解決しようとする問題点〕

本考案は歌詞シートを非常に薄く、かつ丈夫なものにすることにより、歌集帳を薄くして少ない冊数によって多数の需要を満たせるようにし、しかも所望の歌詞の検索が簡単で、かつ脱着自在にとじ込んだ場合に、とじ込み部から裂ける欠点のない歌詞シートを提供することを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案者は紙製の歌詞シートより薄手のプラスチックフィルム製の歌詞シートの方が薄くすることが可能で、しかも丈夫なことに着目し、プラスチックフィルムからなる歌詞シートの製作を検討した。しかし、プラスチックフィルムに単に歌詞を印刷したのでは、水、アルコールなどで汚れた場合又は摩擦もしくは歌詞シート同志の接着等により印刷がはげ落ちたり、にじんだりする。

本考案者はこの歌詞の印刷の上に薄手のプラス



チックフィルムをラミネートすることにより印刷を保護し、とじ込み用の穴の周縁を熱熔融処理することにより裂けないように保護すれば上記目的が達成できることを見出し本考案をなすに至った。

すなわち、本考案は、両面に歌詞を印刷した、熱可塑性プラスチックフィルム製の、長方形の不透明シート2の両面の印刷の上に熱可塑性プラスチックフィルム1をラミネートし、該長方形の左右いずれかの1辺のとじ込み辺に沿って一定間隔で、複数個のとじ込み用の穴5を設け、かつ該穴の周縁を熱熔融により補強し、とじ込み辺に対向する辺又は上下の2辺のうちの少なくとも一边に連続的に延設した見出し用舌片3,4を設けたことを特徴とする歌詞シートよりなるものである。

#### 〔作用〕

本考案に用いる歌詞を印刷された不透明シート2は不透明の熱可塑性プラスチックフィルムからなり、いわゆる合成紙も使用できる。

該プラスチックフィルムを不透明にするために



は、例えば発泡、顔料添加、マットインキなどの塗布等の方法で実施できる。不透明シートの色は特に制限はないが、通常白色にして使用する。

本考案においては、該不透明シート2の両面に歌詞が印刷されている。

本考案に用いるラミネート用のプラスチックフィルム1は透明な極めて薄いフィルムであり、印刷面を摩擦から保護するとともに、これに耐水性を付与している。

本考案の歌詞シートは3重構造のラミネートフィルムであるが、各フィルムが非常に薄いため、印刷紙を用いた場合よりもはるかに薄いシートになっている。

本考案の歌詞シートに設けたとじ込み用穴の周縁は熱溶融により補強してあるので、穴の処から裂けることがない。

この穴の熱による補強は加熱した丸刃型で穴を打ち抜くことにより達成できる。

又、歌詞シートはいろいろな方法で製造できるが、長尺の印刷したプラスチックフィルムにラミ



ネットした長尺の3重構造のフィルムを各ページ毎に熱融断して製造するのが便利である。

その際、見出し用の舌片部3にも印刷を施し、熱融断の際に各ページの端に見出し用舌片部3を歌詞シートから連続的に延設してあるので丈夫である。

この見出し用舌片部3,4によって、歌詞シートの検索が非常に容易になる。

見出し用舌片部3,4は、従来の紙製の歌詞シートでは折り曲げられてちぎれやすく、また従来のプラスチックフィルム製袋の場合は見出し用舌片を設けても、この表面に印刷すれば前記と同じ理由ではげ落ちやすい。

本考案の歌詞シートがプラスチックフィルム製であるため、静電気が起こりやすい。この静電気の発生を防ぐために本考案に使用するフィルムに帯電防止剤を配合しておく并使用に便利である。

#### 〔実施例〕

実施例の図面を参照にして、本考案を更に詳細に説明する。



第 1 図及び第 2 図の本考案の歌詞シートは両面に歌詞を印刷した不透明シート 2 の両面に熱可塑性プラスチックフィルム 1 をラミネートしたものを長方形状に打ち抜いたものであり、その際打ち抜き刃型を加熱しておき該歌詞シートの周縁を融断している。周縁が融着しているのでラミネートがはがれることがない。

本考案の歌詞シートのとじる側の辺 6 に沿って、とじ込み穴 5 が 3 個設けてある。そしてこの穴の周縁も熱熔融により補強してある。

辺 6 の反対側の辺には見出し用の舌片部 3 が連続的に延設してある。

第 3 図の実施例は歌詞シートが縦長の長方形のものが示してあり、見出し用舌片 3, 4 が右辺及び上辺に設けてあるものである。見出し用舌片部を 2 種類使用することにより、曲目別及び歌手別等の 2 種の角度から索引ができる。

このような見出し用舌片を複数個設けることにより目次に頼らずに求める歌詞を検索することも可能になる。





〔考案の効果〕

本考案のような薄い歌詞シートを使用すれば、歌集帳が分厚くならず、従って歌集が多数冊にわたることがないので歌詞の検索に便利である。一方、薄い歌詞シートを脱着自在にとじ込んだときに、とじ込み穴の処から裂けることがないので丈夫であり、耐水性、対摩擦性にもすぐれているので、歌集帳が長持ちする。

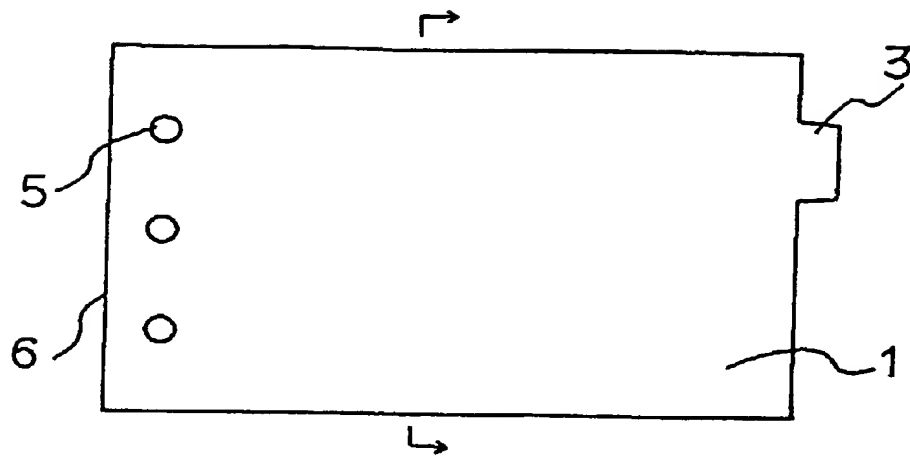
さらに、見出し用舌片部3により所望の歌詞シートを速やかに検索できるので有利である。

3. 図面の簡単な説明

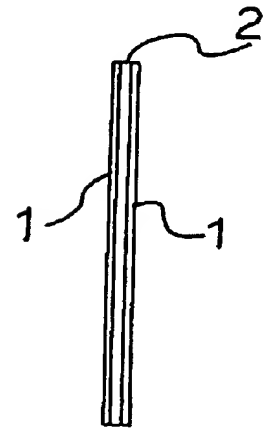
第1図は本考案の実施例の歌詞シートの正面図であり、第2図はその縦断面図であり、第3図は本考案の他の実施例の歌詞シートの正面図である。図中の符号は 1:歌詞を印刷した不透明シート、2:ラミネート保護フィルム、3,4:見出し用舌片、5:とじ込み用穴、6:とじ込み辺である。

実用新案登録出願人 株式会社 山形グラビヤ  
代 理 人 内 山 充

第1図



第2図



第3図

